こんな 活動です

# 水沢と共に育つ子どもの育成~「水沢を学ぶ」「水沢に学ぶ」「水沢と学ぶ」~

三重県四日市市

●活動名 ●関係する学校名

四日市市立水沢小学校コミュニティスクール運営協議会(きらら委員会)

四日市市立水沢小学校

協働活動 167 人 平成 22 年度 1 校 学級 開始年度 学校数 学級数 地域課題解決学習 学校支援活動 活動区分 配置人数 配置人数 統括的な地域学校協働 地域学校協働活動 活動推准員等の数 推准員等の数 8人 37人 指定·設置日 延べ登録人数 企業・NPO 有 学校運営協議会 令和3年4月設置予定 42人 参考URL http://www.vokkaichi.ed.ip/~suizawa/cms2/htdocs/

●連絡先 四日市市立水沢小学校

**○** 059-329-8000

活動の概

○組織·運営 運営協議会 年間5回開催

○活動概要

- ・地場産業「お茶」を中心とした、お茶摘み体験・製茶体験・お茶の入れ方体験・お茶カフェの取組。
- ・運動会練習時の児童の熱中症対策と、郷土の銘品である水沢茶のアピールを兼ねたお茶出しサービス。
- ·きらら委員会と学校、地域の団体等との連携による防災訓練の取組。
- ・水沢地区文化祭等, 地域の特性や文化, 人材を活かした活動の取組。

## ● 活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

○「水沢を学ぶ」「水沢に学ぶ」「水沢と学ぶ」をキーワードに、水沢地域の自然、文化、歴史、産業等の学習の充実を図っている。
・3、4、6年生児童のお茶摘み体験や、学校茶園で収穫したお茶で6年生が「お茶カフェ」を開いている。6年生は、日本茶インストラクターからお茶の入れ方などを伝授してもらい、体験活動で学んだことを活かす取組となっている。また、運動会の熱中症対策として、地元茶農協に提供いただいた水出し茶のサービスを「きららボランティア」が実施。

- ・地区連合防災会、きらら委員会を中心に、体育館に設置した障害物を越えながら、けが人を救助する体験的な防災訓練を実施。
- ・きらら委員会がコーディネートしたゲストティーチャーを学校へ招き、地域の特産(お茶)や文化、人材を生かした学習活動等を実施。

#### 【実施に当たっての工夫】

- ・お茶づくりが盛んな水沢地区の地場産業の振興は,地域の人々の大きな願いであるため, 児童が興味を持ちやすいよう, 体験活動を中心におき, 学びを深めるようにしている。
- ・災害時に、地域ぐるみで防災活動や救助活動を行えるよう、きらら委員会・地区連合防災会・学校との合同訓練としている。
- ・水沢地区社協との共同開催で、水沢地区文化祭を本校で開催することにより、地域と学校教育との融合を図り、地域の様々な人材を ゲストティーチャーとしてお招きし、地域の特性と人材を生かした活動を学年ごとに行っている。(あられ作り・花いっぱい活動のプランター製作・わらを使った飾り物製作・お茶カフェ)
- ・地域の人材支援によって, 5, 6年生が, 地域の伝統文化であるお諏訪踊り(笛・謡い・太鼓踊り)の発表を行ったり, スポーツ推進委員による3, 4年生のボッチャ体験を行ったりすることで, 地区内の幅広い世代の親交を促進することにつなげている。

## ● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・きらら委員会では、8名の委員を中心として、学校運営に積極的に参加をし、多くの行事を実施することができた。特に、自然が豊富な水沢地区で作られたお茶等を活用した体験活動を行うことで、児童が「郷土・水沢」に親しみや誇りを持ち、「水沢の人・文化・産業・自然」を大切にするようになった。
- ・地域ぐるみで食育推進や生活リズム向上をめざし、全員協議会の場で給食試食会を開催した。また、「みえの学力向上県民運動」の一環として、本校独自の生活実態調査を年3回実施し、保護者・地域ぐるみで子どもの生活習慣の向上を図ることができた。
- ・学校も元気、地域も元気となるような「WIN・WIN」の関係を構築している。

#### ● その他

地元茶農業協同組合と連携し、学校茶園で茶摘み体験を行っている。また、そのお茶を、6年生が地区文化祭で地域の人々にふるまうため、ゲストティーチャーによるお茶の入れ方の学習や、パソコン室でお茶やお茶の入れ方についての調べ学習等を行っている。



地場産業である茶摘み体験



る体験的な防災訓練地区連合防災会の御指導に